BULLETIN OF JAPAN BOOK IMPORTERS ASSOCIATION

洋書輸入協会会報

VOL. 25
NO. 10

（通巻293号）1991年10月

理事会報告

8月26日(月)

(一) 第12回国際英語教材展

10月26日(土)、27日(日)にお茶の水スクエアーC館にて開催される同展に後援の要請があり、この要請に応じることにした。

(二) 会員名称変更届

賛助会員マクスウェル マクミラン パーガモン パブリッシング コーポレーション ジャパンが名称を、パーガモン プレス ジャパンに変更したとの届のあったことが報告された。

なお、マクスウェル マクミラン ジャパンの事務所が、東京都世田谷区松原2-42-14 美鈴Sビル2Fに開設された。

(三) 顧問の委嘱

協会顧問相良廣明氏の任期が1991年9月で修了となるので、引続き1993年9月までの2年間委嘱することにした。

(四) 50周年記念行事

9月11日(水)の記念行事開催の準備状況について報告があり、会報の特集号を発行する手配を進めていることも報告された。

(五) 第5回日米大学図書館会議

1992年10月6日(火)〜9日(金)に東京において開催される同会議につき、会議の要項および寄付金募金の趣意書が送られて来たことが報告されたが、洋書輸入協会として対応することとし、検討してゆくことにした。

海外ニュース

製造物責任訴訟の却下

サンフランスシスコ控訴裁判所は、出版社を被告に製造物責任を理由に訴えることは出来ないとの判決を下した。英国で出版され The Encyclopedia of Mushrooms の中で安全とされた野性キノコを食べたあと病気になった2人の原告が、この百科事典の米国内の販売会社である Putnum 社を訴えていたもの。裁判所は合衆国憲法第1修正は知識の自由な交換を優先しているとし、百科事典出版社は書籍の中の情報がすべて正しいことを保障する責任があるとの原告の主張を退けた。

（P.P.レポート7月22日号から抜粋）

—㈱紀伊國屋書店提供—

理事会報告 ……1	東京の坂と橋と文明開化(18) ……5	総代理店ご案内 ……7
海外ニュース ……1	海外ニュース ……6	おしらせ ……7
洋書輸入協会史(65) ……2	「うちの会社」を始めます ……6	訃　報 ……7
海外ニュース ……3	おしらせ ……6	広　告 ……8
会員紹介　㈱東京ブックランド ……4	海外ニュース ……7	

洋書輸入協会史 (65)

洋書輸入協会顧問 **相良廣明**

72 岩戸景気と通貨に関する諸問題

戦後の日本は、昭和29(1954)年12月から昭和32(1957)年6月までの31カ月間連続した神武景気の、その1年後の昭和33 (1958) 年7月から、岩戸景気と呼ばれる高度成長期に入った。この好景気は、昭和36 (1961) 年12月までの42カ月間継続する。

この時期に、いわゆる三種の神器と称されるテレビ、冷蔵庫、洗濯機が普及するのであるが、時を同じくして日本の大企業の中央研究所が続々と建設され、洋書特に洋雑誌の需要が急激に増大する。

このような情勢からして、日本の外貨事情は逐次改善され、各国通貨との関係の上にそれが反映し、洋書を取り巻く環境に変化をもたらしてくる。以下に昭和34 (1959) 年度の通貨に関する諸問題としてそれを取上げてみよう。

72.1 指定通貨の拡大

昭和34 (1959) 年4月1日付の通産省公報で指定通貨の拡大が発表され、4月7日に新しく指定された通貨の対米相場の為替換算率が発表された。同日付JBIA No. 70 によれば次の通り。

記

100ベルギー・フラン	につき2ドル	¥720.00
100オーストリア・シリング	につき3.85ドル	¥1.386.00
1デンマーク・クローネ	につき0.14ドル	¥52.00
100イタリア・リラ	につき0.16ドル	¥58.00
1ノールウェー・クローネ	につき0.14ドル	¥50.00
100ポルトガル・エスクード	につき3.48ドル	¥1.253.00

72.2 昭和34 (1959) 年度当初の各国通貨の販売価換算率

その頃の協会員大手某社に例を取れば、その販売価換算率は次の通り。

記

国名	通貨	BOOK	SUBSCRIPTION
米	Dollar	400.-	450.-
カナダ	Canada $	400.-	450.-
英	Pound	1.200.-	1,260.-
西独	D. M.	100.-	105.-
仏	F. Fr.	0.90	0.95
スイス	S. Fr.	100.-	105.-
オランダ	D. G L.	110.-	120.-
スウェーデン	Swe. Krone	100.-	100.-
ノールウェイ	Nor. Krone	70.-	75.-
デンマーク	Den. Krone	70.-	75.-
イタリー	Lira	0.80	0.80
スペイン	Peseta	14.-	15.-
インド	Ind. Rupee	120.-	
インドネシヤ	Rupiah	50.-	

72.3 スペイン・ペセタの切り下げ

昭和34 (1959) 年8月12日付、JBIA No. 84 では、次のように会員に知らせている。

記

新聞によりますと、7月中旬にペセタ約3割が切り下げとなり、欧州交換性回復グループにスペインが入ったとの話ですが、未だ通産省より公式レートの発表はありません。(以上)

72.4 固定していた米ドル売買相場が、一定の幅で弾力性を持たせるよう改正される

昭和24 (1949) 年4月25日から、1ドル=360円の単一為替レートとなり、為替相場が固定されたまま10年の日時を経過した。それが昭和34 (1959) 年9月11日に至って、小幅 (上下おのおの1円80銭=0.5%) ながら弾力的に運用出来る余地が設けられるよう改正された。これは神武景気に次ぐ岩戸景気によって、日本の経済状態が改善され、国際的に円の位置が若干強化されたことによる。その明細は、昭和34 (1959) 年9月14日付、JBIA No. 85 で次のように会員に知らされている。

記

米ドル売買相場の建て方の改正について

去る9月11日大蔵省より標記に関し、下記の通り発表され、今後米ドル建ての送金、手形決済など対外支払手段の取り決めは、当日の相場により換算されることになりました。

1．大蔵省においては昭和34（1959）年9月12日以降米ドルにかかる為替相場の建て方を改め、従来固定していた米ドル売買相場が、一定の幅の中で弾力的に動きうるような仕組みとした。その主な内容は次の通りである。

(1)銀行の顧客に対する米ドル直物電信売買相場は、360円の上下おのおの1円80銭（0.5%）開き、すなわち売 361円80銭、買 358円20銭の範囲内で銀行が自由に建値しうるものとする。

ただし、電信売相場と買相場との開きは、1円40銭以内とする。

(2) 政府（外国為替資金）は、売361円80銭、買358円20銭で米ドル直物の売買に応ずる。

(3) 銀行の顧客に対する米ドル先物相場は自由とする。これに伴い政府は、米ドル先物の取引を廃止する。

(4) 省略

(5) 米ドル以外の指定通貨にかかる銀行の顧客に対する売買相場は、米ドル相場の幅を広げる結果、その幅を広げ、裁定相場の1.5%（0.5%＋1%）開きの範囲内とし、政府の英ポンド売買相場は、裁定相場の1.5%開きとする。

2．今日の措置は、米ドル相場を正常な姿に改めると共に、為替相場の建て方に関する国際的な動向にもそったものである。

参照資料：通産省公報　No. 2962　9月12日付
日経他各新聞　9月12日朝刊

72.5　フランス・フラン、ニュー・フランへ切り換え

昭和35（1960）年1月23日付、JBIA No. 93で、1月1日に実施されたフランスのデノミネーションについて次のように会員に知らせている。

記

……前略

1月21日通産省公報によりますと、皆様も既に新聞紙上で御承知の通り、フランス共和国通貨が単位の変更に伴い、輸入認証等の記載をN. F. Frs（1新フラン、1 N. F. Frs＝旧100Fr）とする様発表がありました。

……後略

当時はニュー・フランのことを重フランとも言ったが、その後はニュー・フランの呼称が定着した。フランスは前述のように昭和32（1957）年8月と昭和33（1958）年12月に、2度の平価切り下げを行っているので、今回のデノミネーションは当然のこととして平静に迎えられた。これで不安の絶えなかったフランス・フランは一応落ちつき、昭和44（1969）年8月10日の11.1%切り下げまで約10年近くを持ちこたえる。そして昭和46（1971）年の変動相場制突入に至ることとなる。

なお、第二次世界大戦後（1944年以降）のデノミネーションは、ギリシャ（第1回）、ハンガリー、ルーマニア、中華民国、台湾、ポーランド、ブルガリア（第1回）、韓国（第1回）、ギリシャ（第2回）、中国、北朝鮮、北ベトナムで実施され、フランスは13回目に位置している。

（続く）

海外ニュース

フレデリック A.プレーガー氏引退

Fredcrick A. Praeger 氏が出版人としての60年近くの経歴に終止符を打ち Westview Press 社から退任した。同氏の学術出版活動は、社会科学、美術、建築、デザイン、考古学にわたり、その出版点数は約1万タイトルに及ぶ。

同氏の出版人としてのキャリアは、1933年ウィーンで父親の出版業に携わったことに始まり、ナチスドイツによるオーストリア併合の後、米国に移住し米国陸軍の兵役に服した。第二次世界大戦後はドイツ出版業界の再建に尽くし、1947年にはフランクフルトで最初のドイツ書籍展を開催した。

同氏は1950年 Frederick A. Praeger Publishers をNY 市に設立、1966年に同社を Encyclopaedia Britannica へ売却した。その後、欧州での出版事業を経て、1975年 Westview Press 社をコロラド州に設立したがこれも1989年 SCS Communications 社へ売却、以後も同社の出版者及び取締役副会長としてとどまっていた。

（P.W. 8月9日号から抜粋）

―㈱紀伊國屋書店提供―

会員紹介

株式会社　東京ブックランド

代表取締役　山田　勝彦氏
東京都文京区大塚3—3—3 遠州ビル
TEL 03(3942)0103

1979年2月神田小川町で創業。今年で12年になる。人間ならまさに伸び盛りの少年期といえよう。事実、3人で創めた仕事が、今では10数名となり、業績も又○○倍！創業時の3名（山田氏、村上氏、五十嵐氏）は、当時の初心と団結の絆、今も固く、それが隆盛の最大の要因と見受けられる。

ブックランド社と言えば、外国絵本の卸業者としてその豊富な在庫、商品知識、誠実な仕事ぶりで、業界でもよく知られている存在であるが、この道へ入ったのはGolden Booksの芦田社長の助言で、同社商品の卸を始めたことが、そもそものきっかけという事である。その後取扱の巾は急速に広がり、今では、日本の洋書絵本の世界を、ハード的にもソフト的にもリードする程になった。ちなみに取扱の主要出版社を国別にひろってみると：

（英国）Collins, Penguin Group (F. Warn, H. Hamilton, M. Joseph, Kestrel…), Ladybird, Octopus Group (Methuen, Heinemann), Hutchinson,…
（米国）Random House, Golden Books, Harper-Collins, H. Mifflin, Dutton, Outlet, Crown, …
（スイス）North-South Bks,
（フランス）Gallimard, L' Ecole de Loisir,…

この他、オーストリア、カナダ等にも、しっかり網ははってある。

どんなフィールドにもベストセラー、ロングセラーはある。絵本の世界も例外ではない。ブックランドのあげる、それらの中の一部を紹介すると、

R. Scary : Best Word Book Ever (Random House)
V. L. Burton : Little House (Houghton Mifflin)
J. Barklem : Brambly Hedge, Spring, Summer, Autumn, Winter (Collins), etc.

これらは、ほんの一時の在庫切れも許されない程の活発な動きをもっている商品で、また有名なPeter Rabbitシリーズ、Winnie the Poohシリーズなども古典的ロングセラーとして忘れられないものの様である。

ところで、絵本のキャラクターが玩具やテクスタイルの世界でビジネスに大活躍し、それがはね返って絵本の売行に影響する事は、Peter Rabbitの例などよく知られているが、近年はテレビなど映像世界も関わる様になったという。小説などでいわゆるFilm-Tie-Inの例はざらにある。最近の絵本でS. Varley : Badger's Parting Gifts (Andersen Pr.) は東電のT.V.コマーシャルに乗って人気が出、本の売れ行きに大影響を及ぼしたという事で、これはCM (CF)-Tie-Inとでも言うのだろうか。

一口に絵本といっても、いわゆる古典的な絵本、ポップ仕掛け絵本、キャラクターもの、学習的な絵本、等々様々である。多様化した世界では絵本への入口も多様である。古典的なもののみを扱う事が良心的であるといった一見正論めいたものが一方にあるが、ブックランドはどんな入口にも門戸を開いて行く姿勢で、その事にプライドが感じられる。毎年イタリアのボローニャで開催される世界絵本展には、欠かさず顔を出して、絵本情報の収集にも熱心である。

（会報委 S. N.-Interview）

東京の坂と橋と文明開化 (18)

お茶の水の橋とニコライ堂〔2〕 文献でたどる日露交流史

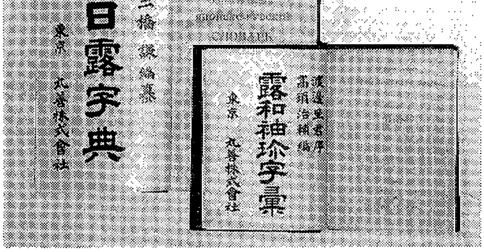
丸善・本の図書館 **鈴木陽二**

司馬遼太郎は、幕府による大船の製造禁止が漂流民を大量生産することになった、という意味のことを書いている(『ロシアについて』)。商品流通の増大で海運需要が高まるにつれて遭難船の数も増え、その多くが北海へ流され、ロシアに漂着する。そして彼らの大部分は故郷へ戻ることもなく骨を異国ロシアに埋めることになった。日露交流は先ずそういう悲しい歴史で開幕する。

黒貂など毛皮の収奪を目指して始まったロシアの東方への膨張と経略は、必然的に日本への関心を呼び起こすことになった。ロシア人が初めて得た日本についての知識は、ロシア語訳『メルカトール地図帳』(1655年)に収載の「日本または日本島について」という記事であり、その後、1701年に日本の記述も含まれた『シベリア地図帳』、1734年には日本に関する最初の出版物『日本誌』が刊行されている。また漂流民からの知識吸収も積極的で、1736年には記録に見える初めての漂民大阪商人デンベイ(傳兵衛)を教師としてロシア科学アカデミーに日本語学校を付設する。同じ年薩摩の漂民権蔵によって世界で初めての露日辞典『新スラヴ・日本語辞典』が編纂されるが、これは薩摩方言が使われた露薩辞典とでもいうようなものであった。この頃にはロシアの千島・樺太の調査・探検が活発となり、シュパンベルグの探検船などは安房から紀州あたりまで南下して住民と接触する。「元文の黒船」といわれた最初のロシア船来航であった。

さて、幕府が特に北方への関心とロシアに警戒を抱き始めるのは、1771年(明和8)のベニョフスキーの日本寄航と彼がオランダ商館長へ宛てたロシア南進を警告する書簡によってであった。わが国を震撼させたこの事件をきっかけにおびただしい数の警世の書が世にでるのであるが、1783年(天明3)には優れたロシア論を開陳し、田沼意次をして蝦夷地巡検使(最上徳内や間宮林蔵もいた)の派遣を決意させた工藤平助の『赤蝦夷風説考』、1793年(寛政5)の前野良沢訳『魯西亜本紀』(本邦最初のロシア歴史書)、桂川甫周訳『魯西亜志』(本邦最初のロシア地理書)などが上梓される。伊勢の漂民大黒屋光太夫は帰国できた最初の日本人で、通商を求めるロシアの外交使節ラクスマンに伴って1783年(天明3)根室に帰航するが、この光太夫の体験を桂川甫周が聴聞して『北槎聞略』11巻付録1巻を1794年(寛政6)に著す。1804年(文化1)には東方経略と現地人収奪の前線組織であった「露米会社」のレザノフが遣日ロシア特使に任命され、クルーゼンシュテルンと共に世界一周航海を経て長崎に来航し通商をせまるが、この時通訳として伴ってきた仙台の漂民津太夫の滞露と航海の体験記録が大槻玄沢によって『環海異聞』15巻にまとめられる。レザノフは幕府の通商拒絶に傷心して帰国するが、彼の部下による樺太・千島方面の寇掠、「フボストフ事件」が起こり、1811年(文化8)幕府はその報復として千島の測量に来航したゴローヴニンを国後島に捕縛する。彼は2年3カ月の虜囚生活の中でロシア文化の扶植にも努め、1813年ロシアに捕虜となっていた高田屋嘉兵衛との交換で釈放される。ちなみに、この時送還された中川五郎治が初めて種痘を伝え、持参した文献が1820年(文政3)に訳されて『遁花秘訣』となり、文政7年には実際に種痘が試みられた。ゴローヴニンは虜囚体験を『日本幽囚記』(1816年)につづり欧州に広く流布するが、5年後には幕府によっても翻訳される。また日本海難史上最長といわれる16カ月の漂流を経験した尾張の小栗重吉によって1818年(文政1)最初の和露辞典『ヲロシアノ言』が編纂される。

プチャーチンの来航へ続くその後の日露交流は次回にゆずるとして、明治期に一寸触れると、明治20～21年に文部省編集局編集の1,743ページにのぼる大冊『露和字彙』全2巻の他、ロシア文学の翻訳家、高須治輔の『露和袖珍字彙』(明治29年丸善)、二橋謙『日露字典』(明治37年丸善)などが、この時代の本格的な日露辞典であった。



海外ニュース

1990年米国書売上高154億ドルを達成

アメリカ出版社協会が発表した最終数字によると、1990年の米国書籍販売額は1989年比5.3%アップの154億3,760万ドルとなった。種別、年度別実績と対1989年比は以下の通り。

AAP Estimated Industry Sales 1989-1990

	Milions of Dollars 1989	1990	
	$	$	% chg from 89
Trade (Total)	3623.5	3892.8	7.4
Adult Hardbound	1745.4	1808.2	3.6
Adult Paperbound	976.6	1063.5	8.9
Juvenile Hardbound	665.1	761.5	14.5
Juvenile Paperbound	236.4	259.6	9.8
Relgious (Total)	737.1	788.0	6.9
Bibles, Testameents, Hymnals & Prayerbooks	201.0	229.9	14.4
Other Religious	536.1	558.1	4.1
Professional (Total)	2592.8	2765.9	6.7
Business	481.7	527.9	9.6
Law	883.0	947.5	7.3
Medical	490.5	526.3	7.3
Technical, Scientific, & Other Professional	737.6	764.2	3.6
Book Clubs	704.0	725.1	3.0
Mail Order Publications	796.8	731.4	-8.2
Mass Market Paperback Rack-Sized	1094.5	1148.6	4.9
University Presses	227.0	245.8	8.3
Elementary & Secondary Text	1983.6	2025.8	2.1
College Text	1842.1	1991.3	8.1
Standardized Tests	119.4	127.6	6.9
Subscription Reference	509.4	540.5	6.1
AV & Other Media (Total)	223.7	237.2	6.0
Elhi	178.6	186.1	4.2
College	17.4	20.0	14.9
Other	27.7	31.1	12.3
Other Sales	211.3	217.6	3.0
Total	14665.2	15437.6	5.3

(P.W. 8月9日号から抜粋)

—㈱紀伊國屋書店提供—

「うちの会社」を始めます

「会報6月号」で“「会員紹介」欄への投稿のお願い”という記事を掲載しました。ところが、その後の会報委員会で、古い企画をむしかえすより、もっと斬新なものにしたら、という意見が出、いっそ会報の一定のスペースを会員の皆様に使っていただいて、“「うちの会社」はこんな会社”、とか、あるいは“「うちの会社」の売れ筋はこんな商品”といった記事を書いてもらったらどうか、ということになりました。

いずれ、会報委員会より各社の寄稿のお願いをさせていただきますが、その節はよろしくご協力の程をお願いいたします。

おしらせ

次の通り会員の名称が変更になりました。

新名称：パーガモン　プレス　ジャパン
旧名称：マクスウェル　マクラミン　パーガモン　パブリッシング　コーポレーション　ジャパン
新代表者：豊増浩一郎
新 住 所：〒113　東京都文京区湯島3—20—12
ツナシマビル・アネックス
電　話：(03) 3839—8731　FAX：(03) 3839—8830

なお，次の通り新事務所が開設されました。

名　称：マクスウェル　マクラミン　インターナショナル　パブリッシング　グループ
（略称：マクスウェル・マクラミン・ジャパン）
代表者：加藤　勉
住　所：〒156　東京都世田谷区松原2—42—14
美鈴Sビル2階
電　話：(03) 5300—1618　FAX：(03) 5300—1615

次の通り就任通知がありました。

三品書店　　新代表者　　三品吉兄（きよし）

海外ニュース

1990年米国書輸出統計

米国商務省の統計によると1990年度の米国書の輸出は14億3000万ドル（前年比＋27.1%）に達した。他方、同年度の米国への輸出は9億200万ドル強（前年比＋12.8%）に及び1990年度の輸出入比率は61:39となった。但し、この統計数字からは輸出については2,500ドル未満の、輸入については1,250ドル未満の小額貨物、郵便小包は除外されており、完全な統計数字とはいえない。
商品別輸出データは右記の通り。

（P.W.7月5日号から抜粋）

―㈱紀伊國屋書店提供―

TABLE 1

U.S. BOOK EXPORTS, 1990
Shipments Valued at $2500 or more
(dollars and units in thousands)

	1990 $	% Chg. 89–90	1990 Units	% Chg. 89–90
Dictionaries	4,659.0	+.001	1,231.9	+6
Encyclopedias	39,369.0	+26.0	6,694.9	+18
Textbooks	128,431.0	-35.3	24,720.7	-30
Bibles & Other Religious Books	55,341.0	-9.4	38,308.1	-24
Technical, Scientific, & Professional Books	322,647.0	-15.8	46,218.8	-19
Art & Pictorial Books	12,242.0	-27.6	7,062.1	+5
Hardbound Books not elsewhere indicated	42,194.0	-61.1	15,535.2	-61
Rack-size Paperbound	49,956.0	-70.6	34,118.3	-63
Other Books not elsewhere indicated	736,063.0	+468.4	1,092,877.9	+180
Children's Picture Coloring, Drawing	12,875.0	+26.6	—	—
Music Books	17,502.0	+112.8	—	—
Atlases	6,725.0	+619.3	—	—
TOTAL EXPORTS	$1,428,004.0	+27.1	—	—

総代理店ご案内

㈱至成堂書店　Tel.（075）431―2345
Fax.（075）432―6588

Akademische Druck-u. Verlagsanstalt, Austria
Ersch-Gruber: Allgemeine Enzyklopädie der Wissenschaften und Künste. 167 Bde. u. 1 Suppl.-Bd.
1991年12月末日迄の特別価格　全巻　¥3,975,000
1992年1月以降　全巻定価　¥5,685,000

ユサコ㈱　Tel.（03）3502―6471
Fax.（03）3593―2709

DATA PUBLISHING GROUP (U.S.A.)
DATA TRACE CHEMISTRY PUBLISHERS, INC.
Chemtracts-Organic Chemistry
Chemtracts-Macromolecular Chemistry
Chemtracts-Inorganic Chemistry
Chemtracts-Biochemistry and Molecular Biology
DATA TRACE MEDICAL PUBLISHERS, INC.
Advances in Orthopaedic Surgery
Pediatric Tracts
DATA TRACE CHIROPRACTIC PUBLISHERS, Inc.
D. C. Tracts

おしらせ

㈱三省堂書店では新ビルの完成に伴い、洋書仕入課を下記に移転いたしました。

〒123
東京都足立区江北7―11―8
三省堂書店ロジスティクス 1F
Tel. 03―3896―6330
Fax. 03―3896―6331

訃　報

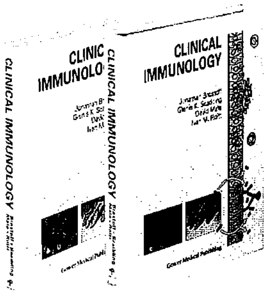
田辺　寛氏（前洋書輸入協会顧問）は8月4日に逝去されました。享年86歳。葬儀は千葉市登戸町の自治会館においてとり行われました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

New Book • • • 臨床免疫学

Clinical Immunology

By Jonathan Brostoff, Glenis K. Scadding, David Male, Ivan M. Roitt

**◎定評あるRoittのImmunologyの姉妹編.
全編にカラー模式図・写真を配し，視覚的に捉えた臨床免疫学.**



1991 444pages, with illustrations
***paper ed.:* ¥7,580 *cloth ed.:* ¥11,380** (税抜き)

主な特色：臨床に必須の免疫学知識について，多くのカラー模式図・写真を中心に近年の免疫学の進歩を解説する.

➡今日の免疫学における知見の急増により，疾患の経過に対する理解が深まると同時に，この情報を利用して多様な臨床上の異常に対しても数々の有効な手法が生み出され，さらに改良された試薬を使ったより良い診断検査や，特定の疾患の経過に的を絞った治療の開発が多くの医師・研究者の間で進められている．本書は，見やすく配置された多数の図表を中心に，臨床に即した免疫学の知識全般をわかりやすく解説する．全面的に4色印刷し，楽しみながら読み進めることができる．臨床免疫学の科学的基礎を学ぶ医学生，それぞれの専門分野における免疫学的メカニズムの理解を深めたいという臨床医をはじめ，*in vitro*や*in vivo*による実験から得られたヒトの免疫異常の解明に対する研究に携わっている多くの基礎および応用科学者の方々にとっても，有効な書となる.

本書の構成：序論，移植，リウマチ性疾患，器官に基づく疾患，過敏症，新形成，免疫不全および感染，免疫介入，免疫検査の項目別に幅広い内容を収録.

➡序論の章では，あらゆる状況を設定して免疫反応の根底にあるメカニズムを解説し，過敏症を簡単に概説する．その後に続く各章では，各疾患の免疫病理学上の基本的特徴を確認し，次いでこれを患者に見られる臨床上の特徴に関連づけ，診断および治療の両面から探って行く．最後に，各章で概説されたものを実践する方法を提唱した章が含まれる.

Outline of Contents

Section I Introduction 1. Introduction
Section II Transplantation 2. HLA and Disease 3. Transplantation
Section III Rheumatological Disorders 4. Principles of Autoimmunity 5. Rheumatoid Arthritis & Other Joint Diseases 6. SLE & Other Connective Tissue Disorders
Section IV Organ-based Disease 7. Endocrine Disorders 8. Renal Disorders 9. Neurological Disorders 10. Gastrointestinal & Liver Disorders 11. Cardiovascular Disorders 12. Pulmonary Disorders 13. Ophthalmic Disorders 14. Skin Disorders 15. Oral Disorders 16. Immunohaematology
Section V General Hypersensitivity 17. Allergy 18. Occupational Lung Disorders 19. Drug Hypersensitivity
Section VI Neoplasia 20. Cancer 21. Lymphoreticular Disorders
Section VII Immunodeficiency and Infection 22. Principles of Immunity to Infection 23. Congenital Immunodeficiency Syndromes 24. AIDS & HIV Infection 25. Nutrition & Immunity
Section VIII Immune Intervention 26. Vaccines Existing Vaccines Future Trends 27. Immunosuppression 28. Immunopotentiation 29. Plasmapheresis
Section IX Immunological Tests 30. Laboratory Investigations

Gower Medical Publishing

nkp 日本総代理店 ㈱南江堂洋書部
〒113 東京都文京区本郷3−42−6 ☎(03)3811−9957

1991年10月 通巻第293号 洋 書 輸 入 協 会 編集者 柴田 三夫
〒 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎3271−6901 FAX.3271−6920
〒 530 関西支部 大阪市北区芝田１−10−２ 第一山中ビル ☎371−5329